

事業名	国内子ども交流(名寄編)	実施期間	平成24年7月28日～31日(北海道名寄市) 平成24年8月5日～8日(杉並区)
対象	区内小学4～6年生 25名	募集方法等	一般公募。申込者多数の場合は抽選で決定。
内容	<p>7月末に抽選により決定した25名の児童が、杉並区の親善大使として北海道名寄市へ訪れ、夏の北海道の大自然の中で、名寄市の児童25名とともにさまざまなプログラムを行い、異なる地域の文化や習慣を学び、交流を深めました。</p> <p>8月上旬には、そのときの名寄市の子どもたちを杉並区へ迎え、杉並区の魅力を伝えるとともに、さらなる友情の絆を強めました。</p>		



雪処理施設見学



名寄サマージャンプ



天文台きたすばるでの天体観測



名寄市のSLの前で



東京浅草見学



東京ディズニーランドで

参加した児童や保護者の声	<p>スタッフがとても優しく何でも相談できた。／このような機会があったら、また参加したい。いつも気遣ってくれてうれしかった。／また同じメンバーで顔を合わせられたらいいなと思った。(児)</p> <p>名寄編で仲良くなった友達と杉並編でもっと仲良くなったのがうれしかったようです。／親元を離れて良い経験ができて感謝しています。／何もかも経験したことがないことばかりで、とても刺激を受けてきたようです。／これを機に子どもたちが人とのつながりを大切にしてくれればいいなと思いました。(親)</p>
--------------	---

事業主管課	保健福祉部児童青少年課
-------	-------------

事業名	国内子ども交流(東吾妻編)	実施期間	平成24年8月18日～20日 2泊3日
対象	区内小学4～6年生 25名	募集方法等	一般公募。申込者多数の場合は抽選で決定。
内容	25名の児童が、杉並区の親善大使として群馬県東吾妻町へ訪れ、東吾妻町の児童25名とともに、ぐんま天文台での天体観測、農村環境改善センターの見学をはじめ、農業体験やキャンプ、勾玉づくりなど東吾妻町ならではの初めての体験を通して交流を深めました。		



東吾妻町での農業体験



東吾妻町キャンプ場で飯盒炊さん

参加した児童や保護者の声	<p>東吾妻の子どもと住所交換したので、交流していきたい。／他県に友達が出来て良かった。／勾玉が気に入った。／参加できてよかった。／仲間と協力して友情を深められた。／自然体験と東吾妻町の子どもたちとの交流で豊かな時間が過ごせた。(児)</p> <p>地域の違いや自分のまち、相手のまちの良さを身を持って感じられて良かった。／今回交流した子どもたちが次回再会できるようなプログラムがあればいいと思った。／異文化を知り、自分の杉並区民としてのアイデンティティーや地域への愛着が育まれるように感じた。(親)</p>		
--------------	--	--	--

事業主管課	保健福祉部児童青少年課		
-------	-------------	--	--

事業名	交流自治体中学生親善野球大会	実施期間	平成24年10月5日～9日
対象	区内中学生選抜野球チーム 2チーム 40名	募集方法等	区内の中学生軟式野球協会所属チーム・学校の25チームの2年生から推薦された17チーム52名の先週により、能力判定(50m走、送球、守備、バッティングなど)を実施し、40名を選抜。選考会に参加したチームから最低1名は選抜されるように野球協会の先生方(教員、審判、コーチ)で選考。
内容	<p>平成23年度から交流を深めた台湾台北市、福島県南相馬市と、杉並区が野球を通して中学生の健全なスポーツ精神を培うとともに、異文化理解・国際理解を深めることを目的に、それぞれの中学生選抜野球チームが、杉並区の野球場を会場として熱戦を繰り広げ、交流会では、言葉は通じないながらも双方の思いを伝えられ強い友好関係を築くことができました。</p> <p>10月6日 中学生交流会と夕食会 10月7・8日 親善野球大会</p>		



参加した児童や保護者の声	<p>交流試合と選抜チームでの経験は、技術面・精神面で得るものが多かった。／試合前日の交流会では、言葉は通じなくてもお互いの思いを伝わることができた。／台湾チームのプレーは、高い技術と野球に対する熱い気持ちが伝わるものがあった。／南相馬市チームは、復興に向けた強い気持ちが伝わる団結した試合内容で、試合後は明るく声をかけていた。／杉並区の選抜チームにおいては、普段は対戦相手であるメンバーが、同じチームメイトとして共に力を合わせて戦った経験は貴重なものであった。(児)</p>		
事業主管課	教育委員会事務局スポーツ振興課		

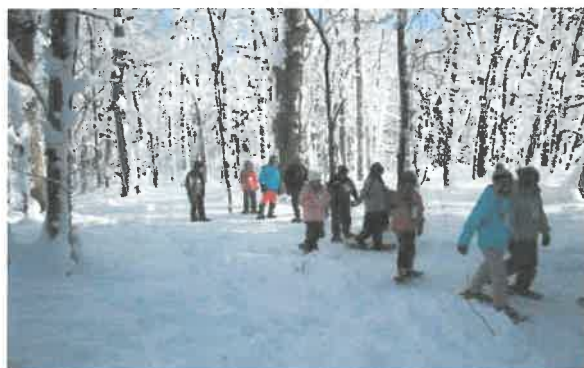
事業名	小学生名寄自然体験交流	実施期間	平成24年12月26日～28日
対象	区内小学4～6年生	募集方法等	一般公募による。申込者多数の場合は抽選。
内容	<p>25名の児童が、極寒の北海道名寄市へ訪れ、現地児童の歓迎を受け交流するとともに、天文台での天体観測、博物館見学、スノートレッキング、もちつき、スノーモービル、カーリング等、名寄ならではのさまざまな体験学習を行いました。</p> <p>平成24年11月6日・12月2日・12月11日(3日間)の事前学習会 平成25年2月3日 科学館において学習成果発表会の実施 平成25年2月12日～16日 区役所区民ギャラリーで児童の発表作品の展示</p>		



天文台きたすばるでの天体観



カーリング体験



雪中トレッキング



スノーモービル体験

参加した児童や保護者の声	<p>東京では体験できない冬の北海道の自然を体験できてよかった。／他の学校の子とも友達になれて良かった。／今度は夏の名寄に家族で行きたい。(児)</p> <p>事前学習会から学習成果発表会まで、子どもとても頑張った。／親元を離れての仲間たちとの体験で、子どもが成長したと感じた。／事前学習が3回もあり、児童も名寄に行く意義を理解できたと思う。／ただ楽しかったで終わらずに、体験したことを振り返って、形にして発表できたことは良い経験になった。／発表の中で「名寄の方々の優しさ…」という子どもが多く、それだけでも体験学習の意義がある。(親)</p>
事業主管課	教育委員会事務局生涯学習推進課、済美教育センター

事業名	中学生小笠原自然体験交流	実施期間	平成25年3月23日～29日
対象	区内中学生 28名	募集方法等	区立中学校・区内私立中学校から推薦された代表生徒
内容	<p>区内の中学校から推薦された代表生徒が、世界遺産に登録された小笠原村を訪れ、現地の方々と交流しました。また、南島でのシュノーケリング、ホエールウォッチングなどの海での体験や、父島での自然観察・戦跡などの歴史学習を行いながら、固有種を守るための自然の保護活動を学び学校・地域における環境保護活動の推進役となるための体験学習を行いました。</p> <p>平成24年 5月25日 結団式 平成24年 6月10日 第1回事前学習会 平成24年 6月24日 第2回事前学習会 平成24年 7月15日 第3回事前学習会 平成24年12月 2日 第4回事前学習会 平成25年 5月 9日 事後学習会 平成25年 5月23日 成果報告会</p>		



南島上陸



兄島海中公園でシュノーケリング



ビーチクリーニング



小笠原の自然を見学



レイ作り



小笠原中学校の生徒との交流

参加した児童や保護者の声	<p>集団での行動が苦手だったが、積極的に自分から動く、周りのことを考える、率先して物事に取り組むということができた／自然と人との共存する意識の高さから学ぶことが多かった／小笠原で学んだことを生かしてまずは善福寺川の環境保全活動をしたい／環境リーダーとしての自覚をもって日常生活で自然と資源を大切にしていきたい(児)</p> <p>初めて出会う仲間との集団行動や現地中学生をはじめとする村民の方々との交流を通して、助け合い・支え合って感動を分かち合う力を育成し、人間的にも大きく成長したようだ(引率)</p>
事業主管課	教育委員会事務局済美教育センター、教育委員会事務局庶務課の共管